

## 産業建設常任委員会視察研修報告書

視察地：九州地方

視察先：大分県竹田（たけた）市、宮崎県椎葉村

実施日：令和7年8月6日（水）～8月8日（金）

旅 費：605,898円（公費）

### 【視察目的】

1. 大分県竹田市
  - ・歴史的な町並みを生かした観光振興について
2. 宮崎県椎葉村
  - ・観光振興について

### 【視察結果】

1. 竹田市では、商工観光課職員から「歴史的な町並みを生かした観光振興」について説明を受け、現地視察を行った。

まず、竹田市の代表的な観光資源として国指定史跡の岡城跡や、久住高原などの四季折々の自然や歴史的背景を活かした観光地として多くの来訪者に親しまれているとの説明があった。

歴史的な町並みを生かした観光振興の具体的な取組として、城下町エリアの中心地に小規模な集会からイベントなどでも利用できる「城下町交流プラザ」を建設し、施設利用者や観光客の交流の拠点整備を行った。

コンソーシアム事業としてまちづくりたけた株式会社を設立し、昔からの「岡城桜まつり」などのイベントの運営から「KABOSUでわっしょい」や「豚（とん）で城下町」などの生産者と飲食業者をつなげる地域のハブとしての役割を果たしているとのことであった。

また、長湯の温泉群などを生かした健康増進プログラム「たけたウェルネス滞在プラン」を策定し、ターゲットを明確にした観光プランの充実に力を入れているとのことであった。

2. 椎葉村では、地域振興課職員と（一社）椎葉村観光協会事務局長から「観光振興について」現状と取組について説明を受け、現地視察を行った。

椎葉村は、九州山地の奥深くに位置する「日本三大秘境」の一つであり、焼畑農業や神楽などの伝統文化と豊かな自然が共存する地域である。人口は少なく、交通アクセスも不便であるが、その地理的特性を活かした独自の観光資源を有している。観光面では、椎葉平家まつりをはじめとする伝統行事や、登山道整備、アウトドア体験の創出など、季節ごとの自然体験を活かした個性的なアクティビティが展開されている。また、観光協会は地域DMO（観光地域づくり法人）に登録しており、村と連携しながら収益事業と公益事業を一体的に進める体制を整えているとのことであった。

また、観光プロモーションの方向性も「外から内へ」とシフトし、村民が地域の魅力を再認識する取り組みが進められている。PR動画や写真展などを通じて、地域の魅力を発信し、立場を越えた協働によるまちづくりが進められている。

一方で、交通の不便さや観光事業の担い手不足といった課題もあり、官民連携による観光プロジェクトや施設整備が進められている。自然・文化・人のつながりを活かし、持続可能な観光と地域づくりを目指しているとのことであった。

#### 【視察効果及び西予市での応用】

1. 西予市は西予市宇和町卯之町伝統的建造物群保存地区（重伝建）から少し離れた駅前に、交流拠点施設である「ゆるりあん」があり、休日には様々なイベント等が催されている。ゆるりあんを起点として、卯之町の町並みや宇和米博物館、県歴史博物館などを周遊するようなコースを設定することで、施設同士の連携やイベントの一元化が図れ、観光に来られた方も効率よく各施設を観光できるのではないかと感じる。

また、市内イベントや周遊コースなどの情報を一目でわかるようなコンテンツに統一することで、誰が見ても有益なものになるのではないかと考える。

2. 西予市においても官・民・地域づくり組織それぞれが観光振興に向けた取組を推進しているが、個々での取組にとどまっており、連携やつながりの弱さが課題となっている。観光業の中心となり、官・民の橋渡しができるような団体を組織（もしくは既存の団体をDMO化）することで、全体の統一が図れ、西予市が統一した観光政策に取り組めるのではないかと感じる。

令和8年2月24日

産業建設常任委員会  
副委員長 河野 清一

1. 大分県竹田市 竹田市議会にて (R7.8.6)  
～歴史的な町並みを生かした観光振興について研修～



2. 宮崎県椎葉村 椎葉村議会にて (R7.8.7)  
～観光振興について研修～

